

国語科学習指導案（略案）

平成 28 年 11 月 18 日（金） 2 校時
 高等部国語Cグループ 男子6人 女子1人 計7人
 場 所 高 等 部 2 年 教 室
 指導者 井上由梨佳（CT） 川越正仁（ST）

1 題材 「感じたことを表そう～詩・俳句～」

2 本時の実際（8／12）

(1) 全体目標

友達と話し合い、学校行事のキャッチフレーズ川柳を作ることができる。

(2) 個人目標

生徒	個人目標
A (1年, 男)	友達の意見を取り入れながら言葉を入れ替えたり、複数の川柳を比較したりして、好きな表現を選んで川柳にすることができる。
B (1年, 男)	自分や友達が考えた行事をイメージする言葉に助詞カードや語尾カードを加えて、五音や七音の言葉を作ることができる。
C (1年, 男)	自分や友達が考えた五音や七音の言葉を読み比べて好きな表現を選び、川柳を作ることができる。
D (2年, 男)	友達と出し合った行事をイメージする言葉の中から五音や七音の言葉を探し、組み合わせることで川柳にすることができる。
E (2年, 女)	行事をイメージする言葉に助詞カードや語尾カードを加えて五音や七音の言葉を作ったり、友達が考えた言葉と入れ替えたりして、好きな表現を選ぶことができる。
F (3年, 男)	友達が出した言葉を参考に新しい表現を考えたり、複数の川柳を比較したりして、好きな表現を選んで川柳にすることができる。
G (3年, 男)	行事をイメージする言葉を五音や七音で考えたり、友達の意見を取り入れて言葉を入れ替えたりして、川柳を作ることができる。

(3) 指導及び支援に当たって

前時までに生徒たちは、俳句や川柳が五七五の十七音から成ることを学習し、五音、七音の枠に合わせてテーマに応じた言葉を考え、組み合わせる活動を通して、「友達」や「先生」、「秋」をテーマに川柳を作ったり、お互いの作品を鑑賞し合う中で、同じテーマでもそれぞれの作品が違う言葉で表現されていることに気付いたりできるようになってきた。

そこで本時では、グループでより良い言葉の組み合わせを話し合う活動を通して、みんなで学校行事を宣伝する川柳を作ることができるようにしたい。具体的には、以下のような指導及び支援を行う。

<導入>

- 作品の例を音読し、字数を数えたり、リズムを感じたりして、俳句や川柳の決まりを思い出すことができるようにする。[基]
- 行事の写真やポスターを提示することで、具体的な行事の内容を想起しながら創作への意欲を高めることができるようにする。

<展開>

- カードを並べる、写真を手掛かりに考えて書く、言葉を組み合わせるなど得意な方法を選択することで、全員が主体的に川柳作りに取り組むことができるようにする。[表]
- グループ活動では、友達と意見を出し合うことで、お互いが考えた言葉を読み比べて表現の違いに気付いたり、友達の表現を取り入れたりして、より良い表現を見つけて川柳を完成することができるようにする。[思・判, 表, 関]
- 生徒から出された良い意見を教師が称賛することで、いろいろな表現の面白さを友達と共有できるようにする。[基]
- 作った川柳を発表し合う中で、お互いの頑張りを称賛し、達成感を感じることができるようにする。[表]

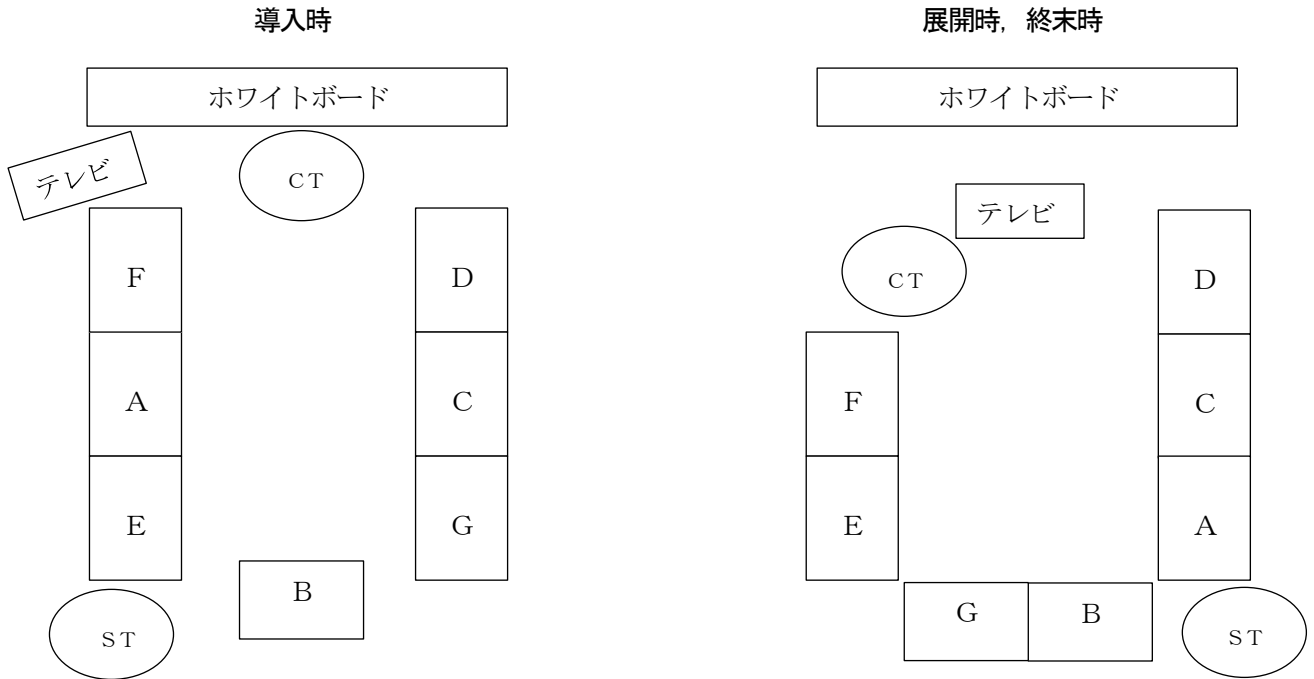
<終末>

- 完成した川柳を全員で音読することで、グループで意見を出し合い、表現を工夫して川柳を作ることができたことを振り返ることができるようにする。

(4) 実際

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備								
導入 (10分)	1 始めの挨拶をする。 2 前時の学習を振り返り、本時の学習について話し合う。 友達と話し合っ、行事川柳を作ろう。	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢を正して元気よく挨拶し、学習の始まりを意識できるようにする。 前時までで作った俳句・川柳を聞いたり、読んだりして学習内容を思い出し、本時の学習に見通しをもつことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの作品 掲示用五七五枠 ワークシート 								
展開 (35分)	3 行事川柳の作り方を確認する。 4 行事川柳を作る。 (1) 行事の写真を見て思い浮かぶイメージや思い出をグループで出し合う。 (2) 出し合った言葉を字数に応じて組み合わせる。川柳にする。 (3) より良い表現がないか同じ字数の言葉を入れ替えてたくさん作る。 (4) 声に出して読み、好きな川柳をグループで一つ選ぶ。 <table border="1" data-bbox="336 1294 703 1429"> <thead> <tr> <th>グループ</th> <th>生徒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A, C, D</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>B, G</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>E, F</td> </tr> </tbody> </table> 5 作った川柳を発表する。	グループ	生徒	①	A, C, D	②	B, G	③	E, F	<ul style="list-style-type: none"> 全員で意見を出し合っ川柳を作ることで、グループ活動の流れを理解することができるようにする。その際、手順表と照らし合わせながら川柳を作っていくことで、手順を理解し、グループ活動でも手順表を用いて自分たちで活動を進めることができるようにする。 教師が複数の表現の良さを称賛して認めることで、正解は一つではなく、いろいろな表現があって良いことを確認できるようにする。 B, Eは、助詞カードや語尾カードから言葉を選択して加えることで、思い浮かんだ言葉を五音や七音にすることができるようにする。 CT, STはそれぞれのグループが作った作品の表現が違う部分を強調して読み上げ、生徒が複数の作品の印象の違いに気付くことができるようにする。 A, C, E, Gは必要に応じて進行表を用いて話し合いの流れを確認することで、自分の意見を友達に伝えたり、B, D, Fの意見を引き出したりして、友達同士で話し合いを進めることができるようにする。 お互いのグループが作った作品を共有できるように、作った川柳と行事の写真タブレット端末で撮影し、テレビに映しながら発表する。 グループの全員が発表に参加できるように、「タブレット端末の操作」や「読み上げ」などのカードで事前に役割を決めておく。 	<ul style="list-style-type: none"> カレンダー 行事の写真 行事のポスター 行事のイメージ言葉リスト 手順表 ミニホワイトボード 五七五枠 形容詞カード 助詞カード 語尾カード 話し合い進行表 タブレット端末 テレビ 役割カード
グループ	生徒										
①	A, C, D										
②	B, G										
③	E, F										
終末 (5分)	6 本時の振り返りをする。 7 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> それぞれのグループの作品を全員で音読し、違いや良いところを見付けてお互いに称賛し合うことができるようにする。 次時は翌週や翌月に控えた行事の川柳を作ることを伝え、学習への意欲や期待感を高めたり、生活の中で川柳作りのキーワードを探したりすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事の写真 								

(5) 場の設定



(6) 評価

ア 全体目標

友達と話し合い、学校行事のキャッチフレーズ川柳を作ることができたか。

イ 個人目標

生徒	個人目標
A (1年, 男)	友達の意見を取り入れながら言葉を入れ替えたり, 複数の川柳を比較したりして, 好きな表現を選んで川柳にすることができたか。
B (1年, 男)	自分や友達が考えた行事をイメージする言葉に助詞カードや語尾カードを加えて, 五音や七音の言葉を作ることができたか。
C (1年, 男)	自分や友達が考えた五音や七音の言葉を読み比べて好きな表現を選び, 川柳を作ることができたか。
D (2年, 男)	友達と出し合った行事をイメージする言葉の中から五音や七音の言葉を探し, 組み合わせさせて川柳にすることができたか。
E (2年, 女)	行事をイメージする言葉に助詞カードや語尾カードを加えて五音や七音の言葉を作ったり, 友達が考えた言葉と入れ替えたりして, 好きな表現を選ぶことができたか。
F (3年, 男)	友達が出した言葉を参考に新しい表現を考えたり, 複数の川柳を比較したりして, 好きな表現を選んで川柳にすることができたか。
G (3年, 男)	行事をイメージする言葉を五音や七音で考えたり, 友達の意見を取り入れて言葉を入れ替えたりして, 川柳を作ることができたか。

授業計画シート (ver.4)

学部	教科等名	学習集団 (グループ名等)	題材名	総時数 (実施時期)
小・中 高	国語	C	「感じたことを表そう～詩・俳句～」	12時間(10月～12月)

題材の全体目標
俳句・川柳のきまりを理解し、字数やテーマに合わせて言葉を選んで川柳を作ることができる。
俳句・川柳を聞いたり読んだりして情景を想像し、感じたことを伝えることができる。

児童生徒名	個人目標	児童生徒名	個人目標
A	きまりを知り、テーマに合わせて字数を調整しながら言葉を選び、川柳を作ることができる。俳句・川柳を聞いたり読んだりして情景を想像し、感じたことを発表することができる。	E	きまりを理解し、字数やテーマに合う言葉を選択肢から選んだり教師と一緒に考えたりして、川柳を作ることができる。俳句・川柳を聞いたり読んだりして情景や作者の気持ちを想像し、感じたことを書いたり話したりして伝えることができる。
B	きまりを知り、選択肢から字数やテーマに合う言葉を教師と一緒に選び、組み合わせて川柳を作ることができる。名詞や気持ちを表す言葉を手掛かりに俳句・川柳の表す情景を想像し、感じたことを言葉カードや写真から選んで伝えることができる。	F	きまりを理解し、テーマに合わせて字数を調整しながら言葉を選び、川柳を作ることができる。俳句・川柳の情景や作者の気持ちを読み取り、感じたことを書いて伝えることができる。
C	きまりを知り、字数やテーマに合う言葉を選択肢から選んだり教師と一緒に考えたりして、川柳を作ることができる。俳句・川柳を聞いたり読んだりして情景を想像し、感じたことを発表することができる。	G	きまりを理解し、字数に合わせて表現を工夫して、テーマに応じた川柳を作ることができる。俳句・川柳を聞いたり読んだりして情景を想像し、感じたことを発表することができる。
D	きまりを理解し、字数やテーマに合う言葉を教師と一緒に考え、組み合わせて川柳を作ることができる。俳句・川柳の表す情景を読み取り、教師とやりとりしながら感じたことを伝えることができる。		

指導計画			
指導内容<基礎・基本>	次	時数	学習活動 各教科等との関連
記入例：【書く：小ー3】単語を組み合わせ、主語と修飾語、述語を整えて文を作る。(全員)			学習活動 <思考力・判断力・表現力/人間関係/主体性 を育む視点> ※学習活動の後に該当する番号を記入する ①学習した知識や技能を主体的に使う / ②自分の考えを主体的に表現する / ③主体的に友達と協力・協働する 各教科等/単元・題材/主な学習活動・内容
【読む：中】友達と一緒に声に出し、俳句・川柳を正しく読む。(全員) 【読む：中】俳句・川柳を読んで情景を想像する。(A, B, C, E, G) 【読む：高】俳句・川柳を正しく読み、内容を読み取る。(D, F) 【話す：中】俳句・川柳を読んで、感想を発表する。(全員)	一	1	1 俳句・川柳について知る。 (1) 俳句・川柳を聞いたり読んだりする。 有名なもの 松尾芭蕉, 小林一茶 など 身近なもの『お〜いお茶』、『友蔵 心の俳句』、『サラリーマン川柳』 など (2) 情景をイメージし、聞いたり読んだりした俳句・川柳に合うイラストを当てる。 (3) 好きな俳句・川柳を選んで感想を書き、発表する。 (4) 俳句・川柳を音読し、きまりを知る。<五七五>
【書く：中】句や絵・写真を見て、気持ちや様子を表す言葉を選んだり考えたりしてマスに書く。(B, C, E, G) 【書く：高】書かれている句に合わせて、状況や字数に合う言葉を考えてマスに書く。(A, D, F)	二	9	2 川柳を作る。 ①②③ (1) 俳句・川柳を音読し、きまりを確認する。<五七五> (2) (上の句・中の句まで書かれたものに) 下の句に言葉を入れて、川柳を完成させる。 (3) (上の句や下の句に名前を入れて) 自分川柳や友達川柳、先生川柳を作る。 (4) テーマから連想する言葉をグループで出し合う。 (5) グループで出し合った言葉を五音や七音にして、グループで川柳を作る。 写真川柳, 学校行事川柳 など (6) テーマに合わせてワークシートにイメージをメモし、川柳を作る。 写真川柳, 擬音語川柳 など (7) できた俳句・川柳を短冊に清書する。
【書く：高】マスや行に合わせて正しく書く。(全員)	三	2	3 句会をする。 ② (1) 俳句・川柳を全員板書する。 (2) 全員で音読し、気に入った俳句・川柳を一句選び、投票する。 (3) 作った俳句・川柳を一人ずつ発表する。 (4) 発表を聞き、感想を書いたり伝えたりする。 +α ((5) 発表された友達の俳句・川柳に対して、五七五で感想や返事を書く。)
			日常生活の指導 「朝の会」「帰りの会」 → 自分の意見を発表したり友達の発表を聞いたりする 総合的な学習の時間 「働くこと・いろいろな生活について考えよう」 → 暮らしや余暇への広がり (学習したことを余暇活動で活かす)

<年間指導計画との関連>
○基にした年間指導計画 <記入例：小・国 (○段階)「単元・題材名」> 高・国 (5段階)「感じたことを表そう～詩・俳句～」

<実施時期や時数に関する評価>	
○実施時期 適 当 ・ 要検討 (頃)	○必要と思われる時数 適 当 ・ 要検討 (時間程度必要)

ミーティング	授業研究会
<例：○/(総時数)>	<例：○/(総時数)>